

1.1 畜産の動向

(1) 乳用牛

酪農経営では、中部地区は戸数及び頭数共に県下の約5割を占める。戸数は特に小規模農家の廃業により、対前年1戸減（全県5戸減）と年々減少傾向、飼養頭数は若干の減少はあるものの、経産牛は維持傾向にある。

（単位：戸、頭、％）

区 分	中部地区		県		県内占有率
		前年比		前年比	
経営戸数	58	98.3	123	96.1	47.2
飼養頭数	4,781	98.2	8,819	97.4	54.2
うち経産牛頭数	3,137	100.5	5,877	99.0	53.4

資料：家畜飼養状況調査、H30.2.1県畜産課

(2) 肉用牛

肉用牛経営では、中部地区は戸数で県下の約4割、頭数で約6割を占める。特に交雑種、乳牛肥育頭数においては、全県の8割を占めている。肉用牛では全国に通用する種雄牛の造成により、和子牛相場は依然として高騰しており、繁殖経営の増頭は進んでいるが、逆に肥育経営では導入素牛の高騰により飼養頭数は減少傾向にある。

（単位：戸、頭、％）

区 分	中部地区		県		県内占有率		
		前年比		前年比			
肉用牛経営戸数	122	99.2	312	99.0	39.1		
飼養頭数	総頭数	11,014	98.2	18,681	100.4	59.0	
	繁殖	繁殖雌牛頭数	2,072	112.3	4,982	111.8	41.6
		うち24ヶ月齢以上	1,258	118.5	3,072	113.9	41.0
	肥育	和牛	2,854	92.0	6,220	98.1	45.9
		乳牛・交雑牛	6,088	97.1	7,485	95.8	81.3

資料：家畜飼養状況調査、H30.2.1県畜産課

(3) 豚

養豚経営では、中部地区及び全県で戸数及び頭数が減少している。

（単位：戸、頭、％）

区 分	中部地区		県		県内占有率
		前年比		前年比	
経営戸数	13	92.9	23	88.5	56.5
飼養頭数	15,197	90.5	64,383	93.8	23.6

資料：家畜飼養状況調査、H30.2.1県畜産課

(4) 鶏

採卵鶏は羽数が減少傾向、肉用鶏及び種鶏は企業経営を中心に飼養され、戸数、羽数共に微増している。

（単位：戸、羽、％）

区 分	中部地区		県		県内占有率
		前年比		前年比	
経営戸数	34	106.3	84	102.4	40.5
飼養羽数	1,841,429	105.7	3,890,963	99.9	47.3
採卵鶏	30,277	98.4	562,488	99.5	5.4
	76,530	99.9	147,465	100.5	51.9
	1,734,622	106.2	3,181,010	102.7	54.5

資料：家畜飼養状況調査、H30.2.1県畜産課